

令和元年度 中学校卒業証書授与式 教育委員会あいさつ

晴れの卒業式を迎えられた卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、平成29年4月、中学校に入学以来、学習や運動に励み、心身を鍛えてきました。その努力が実を結び、本日ここに義務教育の全課程を修了し、めでたく卒業証書を手にされたことを心からお祝い申し上げます。

これから皆さんが生きていく未来は、無限の可能性に満ちており、努力次第でいかようにも切り拓いていくことができます。

しかし、一方で、変化の激しい予測不可能な社会であるともいわれており、小学校入学時の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故や、この度の世界規模で広がりつつある新型コロナウイルス感染症は、正に予測不可能な例の一つと捉えることができ、これからの社会では、一人一人が自ら考え、判断し、対応しなければならない様々な状況に遭遇することが考えられます。

そのような社会を生き抜いていく皆さんにとって、お手本となる先人の知恵が、この南相馬市には、脈々と受け継がれています。

皆さんが至誠学として学んできた「至誠」「勤労」「分度」「推譲」さらに「積小為大」「一円融合」といった、二宮尊徳の教えによる報徳仕法です。

先人たちは、この教えをいかして、江戸時代の未曾有の災害を乗り越えました。

これから皆さんが歩んでいく中で、ときには、困難な壁が立ちふさがることがあるかもしれません。

そのようなとき、この先人の教えにならい、自分の将来の夢や希望の実現に向け、小さな努力を着実に積み重ね、自らの未来を切り拓いていくことを期待しています。

保護者の皆様には、立派に成長されたお子様の晴れ姿を目の当たりにされ、感激もひとしおのことと拝察いたします。長い間お子様の教育に力を注がれ、今日の栄えある卒業の日を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。これまで、心からのご支援、ご協力をいただきました保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様の熱意あふれる指導が実を結び、このような輝かしい巣立ちの日を迎えました。これまでの労苦に対し、心より御礼申し上げますと共に、今後とも、卒業生を温かく見守り、指導いただきますよう、切にお願い申し上げます、はなむけのことばといたします。

令和2年3月13日

南相馬市教育委員会